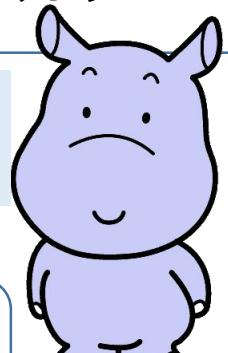


学習のめあて

下水道を支えているしごとと人について学んでみよう

かばのだいちゃんが、生活にみ近な下水道についてせつ明してくれます。だいちゃんの話をよく聞いて、「水さい生センターのしごと」について、わかったことをまとめましょう。



かばのだいちゃん

()内の正しいほうに○を付けてね



370万人がんんでいるよこはま市では、
1日に（150万・300万）立方メートルの
水がながれている。

水さい生センターは毎日、
(24時間・朝9時から夕方5時まで)
下水しょ理をしているんだ。

もちろん（台風・きり）なんかが来たらおおいそがし。
まちを（しん水・火事）から守るためがんばってるよ

「下水道」にたずさわる人はどのようなしごとをしているでしょうか。しらべましょう。また、そのしごとが社会にどのようにやく立っているか、考えましょう。

社会には、人のやくに立つしごとが数多くあります。みなさんはどんな人のためにはたらきたいでしょうか。そのしごとのやくわりや目てきをまとめましょう。また、そのしごとをするためにどんなぎじゅつやのう力、こせいをみがくとよいですか。思いつかない場合には、そうじなどの当番や係活など、クラスやクラブ活どう、家庭内での自分の役わりについて、それをせつ明し、だれのやくに立っているか、まとめましょう。

下水道では水の
ちょうさもするよ

